

売れる米技術情報

～ 売れる「新潟なんかん米」づくり運動～

品質向上対策3本柱！

- ①適正籾数確保 (小で小さな稲づくり) ②後期栄養・水の確保 (粒張りの良い米づくり) ③土づくり (気象変動に強い稲づくり)

平成18年7月11日
新潟なんかん米改良協会
県央農業振興会議
三条農業普及指導センター

**5月連休植えコシヒカリの出穂期は、8月3日の予想。
2回目重点の穂肥で後期栄養を充実させ、品質向上を図りましょう。**

1 水稻生育状況 (7月10日現在) 草丈：やや短い、茎数：やや少、葉数：並、葉色：やや淡い

品 種	場 所	移 植	草 丈 (cm)			茎 数 (本/m ²)			葉 数 (葉)			葉 色 (SPAD)		
			本年値	前年比	平年比	本年値	前年比	平年比	本年値	前年差	平年差	本年値	前年差	平年差
コシヒカリ	三条市	5/9	67	84	93	452	100	101	10.8	-0.3	-0.2	36.3	-4.2	-1.6
	燕 市	5/3	67	90	89	481	85	84	11.5	-0.2	-0.1	33.4	1.5	1.0
	(平均)		67	87	91	467	93	93	11.2	-0.2	-0.1	34.9	-1.4	-0.3
こしいぶき	三条市	5/9	59	78	92	421	86	102	11.1	-1.1	-0.6	38.3	-4.8	-1.7

2 コシヒカリの出穂期予想 (7月10日現在)

移植時期	幼穂形成期	1回目穂肥時期	2回目穂肥時期	出穂期
5月6日植	7月12日	7月16～19日	7月24日	8月3日
5月10日植	7月14日	7月18～21日	7月26日	8月5日
5月1日直は	7月19日	7月24～27日	8月1日	8月11日

3 コシヒカリの穂肥 ～2回目重点の穂肥で後期栄養維持～

1回目 出穂期18～15日前 (幼穂長1cm)、 量：窒素成分で1.0～1.5kg/10a。

◆ 移植時期やほ場条件により出穂期が異なります。幼穂長が1cmあることを必ず確認してから穂肥をしましょう。

◆ 1回目穂肥ができる稲姿 (出穂18日前の目標生育量)

草丈：75cm 茎数：400本/m² (50株植で26本/株、60株植で22本/株) 葉色：31(SPAD)

茎数が多いほ場や葉色が濃いほ場は、1回目の穂肥時期を遅らせたり、施用量を0.5kg/10a程度に控え、2回目の穂肥を確実に施用しましょう。

2回目 出穂期10日前 (幼穂長10cm)、 量：窒素成分で1.5～2.0kg/10a

ただし、穂肥2回の合計窒素成分量は、3kg/10aまで

◆ 1回目の穂肥を遅らせたところも、2回目の穂肥は、出穂10日前に確実に施用しましょう

4 生育過剰の場合を除き、こしいぶきの2回目の穂肥を出穂10日前までに確実に施用しましょう。

5 昨年紋枯病が発生したほ場は、予防剤の散布を検討しましょう。

間断かん水または飽水管理により土壌水分を保ちましょう。また用水不足にならないよう、かけ流しはやめましょう。

農道・畦畔の草刈りの徹底と本田防除により斑点米を防止しましょう。